木枠付鏡　KF-4014AT

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

安全に関するご注意

■安全のために必ずお守りください

必ずこの施工説明書の指示通りに施工してください。
※過った施工をされた場合、商品が破損したり、外れたりしてケガをする恐れがあります。

（用語および記号の説明）

注意 ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注意

不陸が2mm/mを超える場合、段差のある場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工すると鏡がひずんで破損し、ケガをする恐れがあります。

鏡が破損しないよう、取り扱いには十分注意してください。
※鏡が割れてケガをする恐れがあります。

鏡はしっかりと下までスライドさせて固定してください。
※固定が不完全な場合、鏡が外れて破損し、ケガをする恐れがあります。

同梱部材の確認

同梱部材	・木枠付鏡本体	1ケ
	・施工説明書（本書）	1枚
	・取扱説明書	1枚
	・型紙	1枚
	・固定金具	4個
	・施工用ビス	8本

施工前の注意事項

1.落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の条件をお守りください。

【乾式壁の場合】

- 取付部の厚さが9mm以上になるように取付木（補強木）を設けてください。
  ※取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。
- 石こうボード等のボード張りにはタッピンネジはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、取付部の厚さを確保してください。
- 取付には同梱のタッピンネジを使用してください。
- ボード張りの厚さが12.5mmを超える場合は、超えた分だけ長いタッピンネジを別途用意してください。

【湿式壁の場合】

- コンクリート下地にタイルやモルタルで仕上げてある場合は、別途AY-2（下穴φ7.5×50）を手配してください。タイル等の仕上げ厚さはトータルで20mm以下としてください。
- ALC板や木ずり下地、ラスボード下地への取り付けは、乾式壁と同じように、あらかじめ壁裏に取付木を入れ、必要なねじ込み深さを確保し、取付部材として木ネジを使用してください。

2.浴室など湿気の多い場所への設置は避けてください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

3.日光や殺菌灯が直接当たる場所へ取り付けないでください。
※変色する恐れがあります。

商品図

＜商品外観寸法＞

400　(25)　(25)　(25)　1350　24　2（取付金具の厚み）

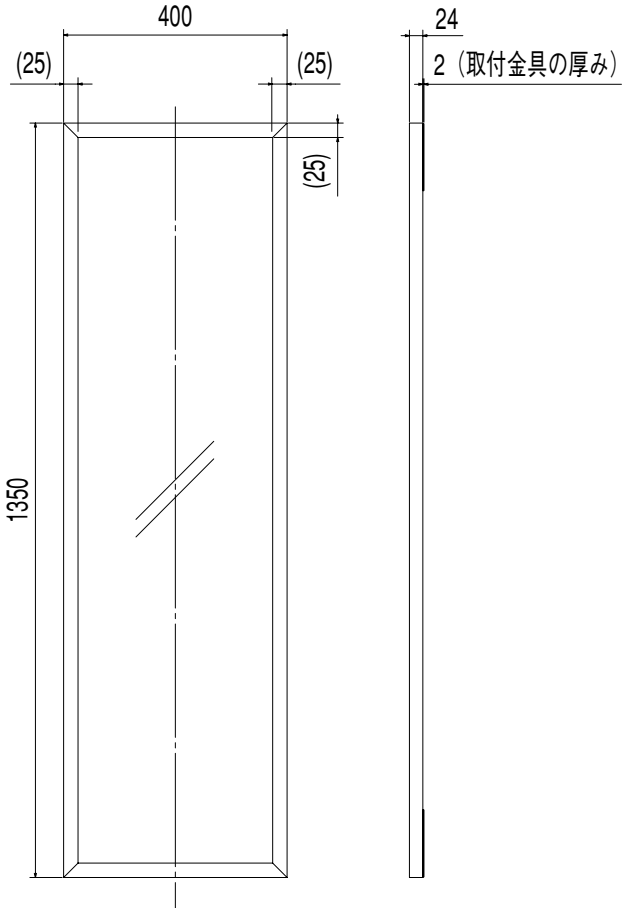
＜固定金具位置＞（縦設置の場合）

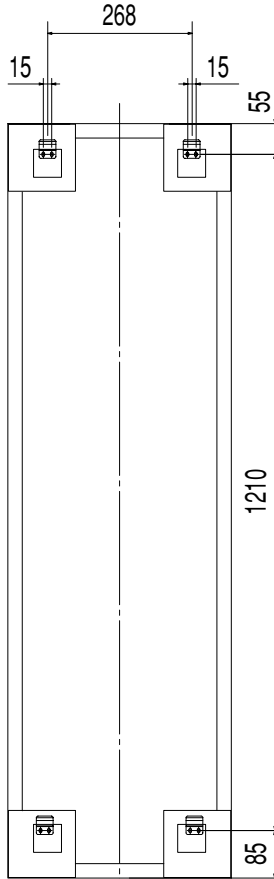
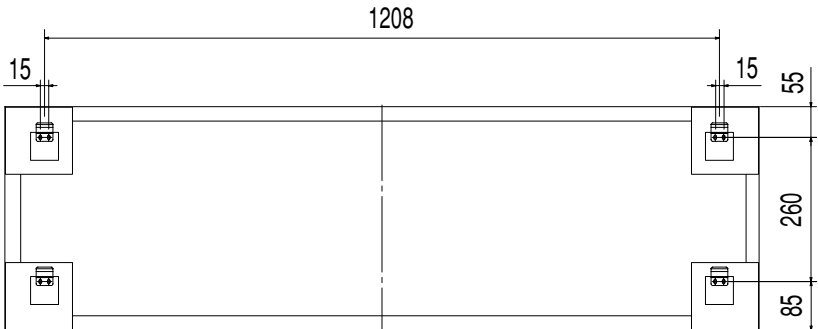
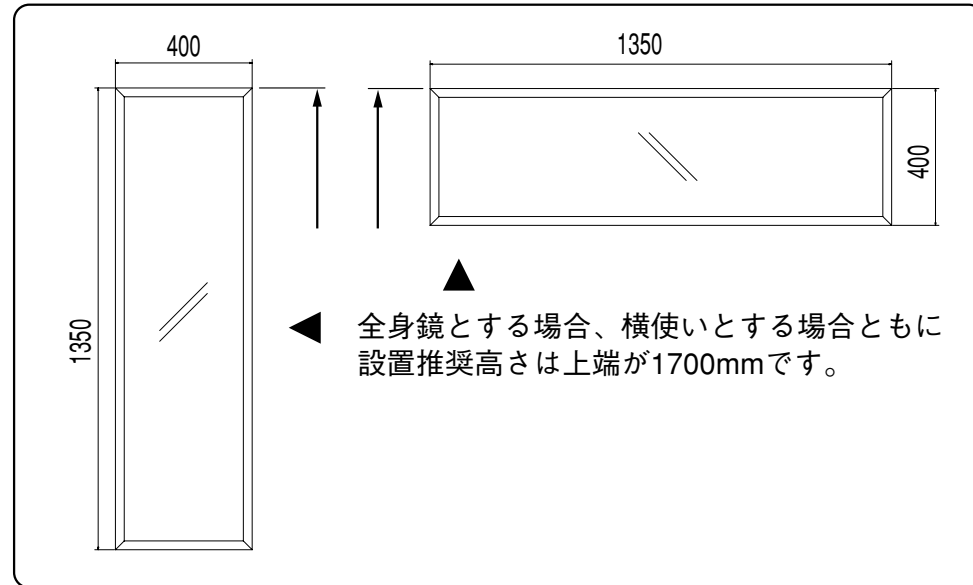
268　15　15　55　1210　85

＜固定金具位置＞（横設置の場合）

1208　15　15　55　260　85

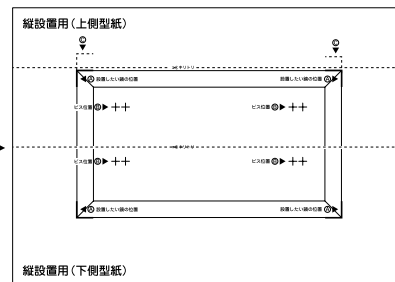
株式会社 LIXIL　●商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで
ナビダイヤル　TEL 0570-017-173
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

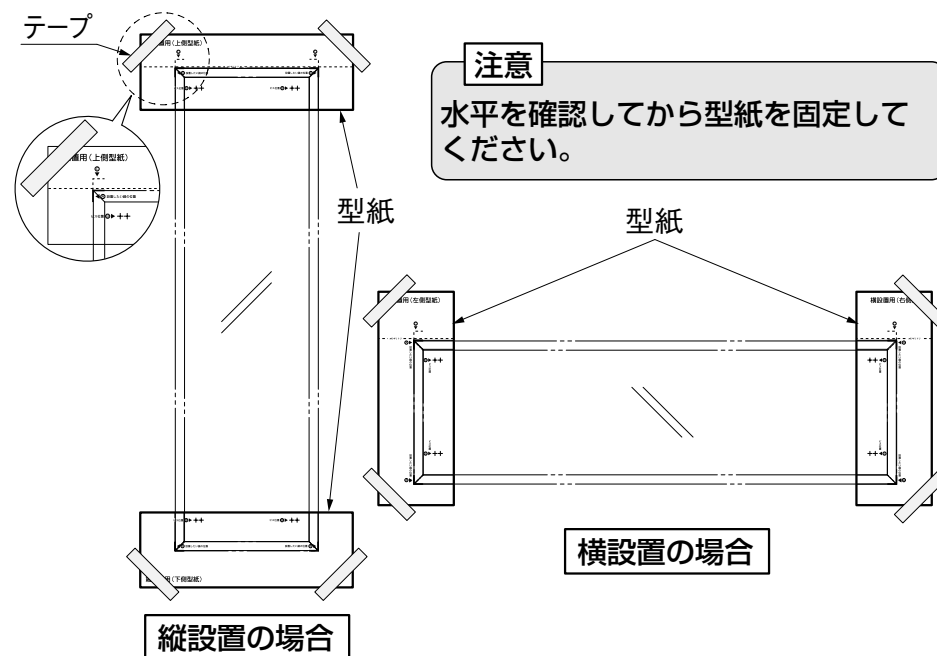
裏面に続く

施工手順

1 鏡を取り付けたい位置を決めます。

全身鏡とする場合、横使いとする場合ともに設置推奨高さは上端が1700mmです。

2 設置する鏡の位置に合わせて型紙を張ります。

①型紙を真ん中のキリトリ線で2枚に分けます。

注意
型紙は裏表で縦設置用と横設置用になっています。設置する方向に合わせて使用してください。

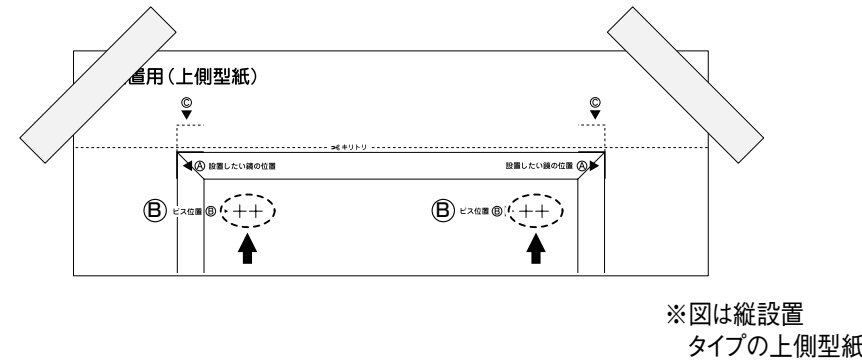
切断

②型紙の実線枠 Ⓐ(「設置したい鏡の位置」と注記がしてある枠)が設置したい鏡位置と合うように型紙を壁に止めます。
※型紙は後ではがせるように養生テープなどで固定してください。

注意
水平を確認してから型紙を固定してください。

縦設置の場合

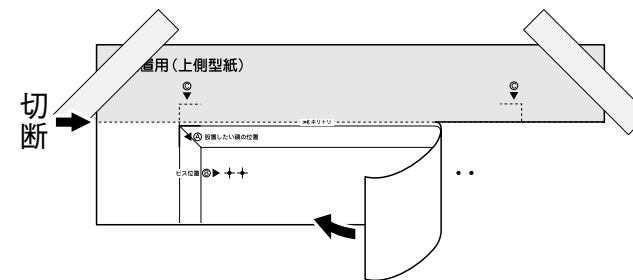
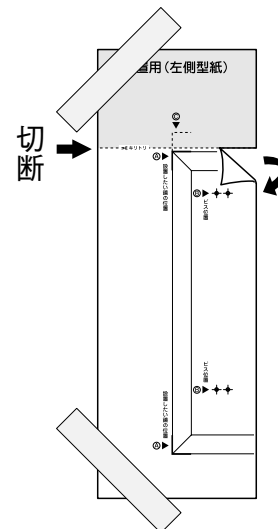
横設置の場合

3 型紙にしたがって固定金具4個を取り付けます。

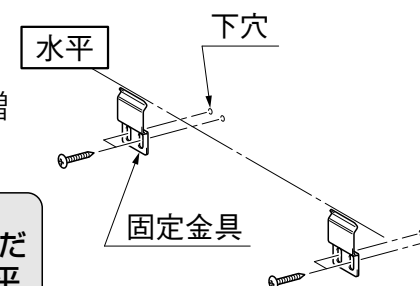
① Ⓑ「ビス位置」に合わせて、型紙の上から場所を確認してφ3の下穴(上下または左右の型紙、計8ケ所)をあけます。

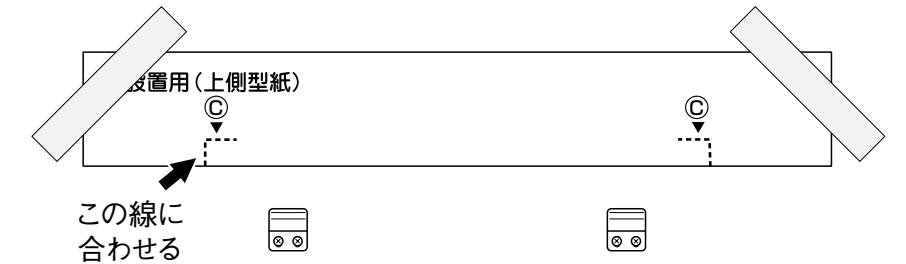
※図は縦設置タイプの上側型紙

②型紙を一部残して切り取ります。
※キリトリ線位置で上部を残して下部を切り取ります。

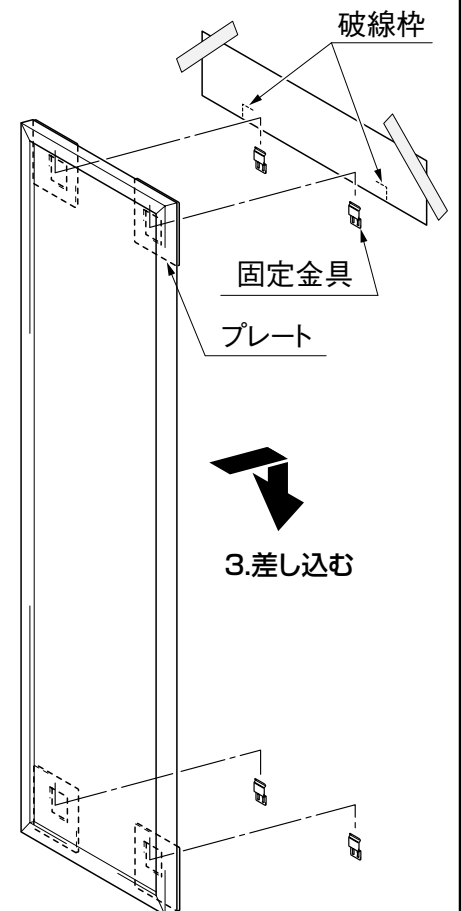
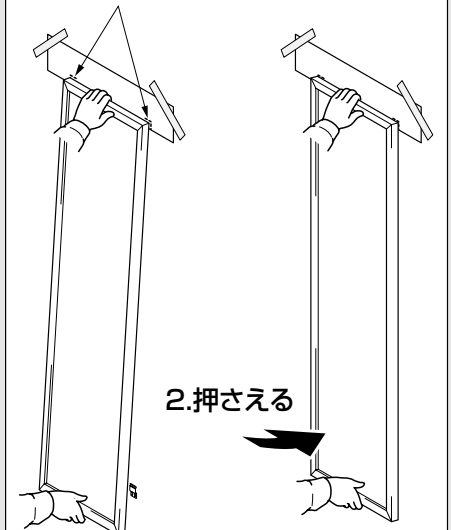
縦設置の場合

※下側型紙は全て取り除いてください。

横設置の場合 **※左右型紙とも破線で切り取ってください。**

ポイント
縦、横両タイプとも、Ⓒ の破線枠を残して切り取ってください。

③固定金具を仮固定します。
④金具同志の水平を確認してから増締めします。

注意
水平になっていない場合は調節してください。金具が水平でない場合、鏡が水平に取り付かない恐れがあります。

4 型紙の指示位置に鏡をあてがい、固定します。

①型紙の破線枠 Ⓒ に合わせて、鏡をあてがってください。

②固定金具に鏡裏のプレートが入っていることを確認して、ゆっくり下に差し込みます。

ポイント
破線枠に鏡上部の位置を合わせて、鏡下部を壁に押し付けながら差し込むと簡単に差し込めます。

※図は縦設置タイプの場合。
横設置タイプの場合も同様に取り付けてください。

⚠ 注意
上下4個の金具に鏡がしっかりと固定されており、浮きがないこと、グラツキがないことを確認してください。
完全に差し込まれていないと鏡が落ちてケガをする恐れがあります。

5 残っている型紙を取り除きます。

型紙を止めている養生テープなどをはがし、鏡の裏からゆっくりと引き抜きます。